



ふれあいネットワーク

大蔵村 社協だより

※社協とは社会福祉協議会の略称です。

第 3 号

令和6年3月29日

発行

社会福祉法人
大蔵村社会福祉協議会

大蔵村大字清水2528番地(大蔵村役場内)

☎0233-75-2104(内線273)



会長あいさつ

社会福祉法人 大蔵村社会福祉協議会
会長 押切 建一

社会福祉協議会は「お互いに支え合いながら平和で誰もが住みやすい地域づくり」の実現に向けて活動を展開しております。村民の皆様と共に、地域に密着した取り組みを積極的に展開し、皆様に必要とされる社会福祉協議会を目指してまいりますので、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルスが5類感染症へ移行し、日本全体で本格的な社会活動、経済活動が再開され、観光地などでは活況を取り戻した様に感じられます。一方でロシアとウクライナ、イスラエルとパレスチナ間で起きている戦争は、未だ終息の目途が立ちません。「経済と平和の危機」に皆様も心を痛めていることと思います。

今般の令和6年能登半島地震につきまして、お亡くなりになられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。皆様の生活の安全と一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。



日頃より大蔵村社会福祉協議会の運営ならびに福祉事業の推進に對しまして、ご理解ご



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

令和5年度 実施事業のご報告

令和5年度に実施した村社会福祉協議会の事業の一部をご報告します



誰もが安心してあたたまる冬を…
除雪ボランティア活動を行いました

2月15日、大蔵福祉会と高校生ボランティアサークル「ぎやらくと」の協力のもと、除雪が困難な一人暮らしの2世帯へ除雪ボランティア活動を行いました。今冬は暖冬で比較的穏やかに過ごしていますが、屋根から落ちた雪を一人で除雪するのは高齢者にとって大きな負担となっています。屋根から落ちた雪で窓が塞がれ、暗くなった茶の間も今回の活動により、窓から日の光が射し、受入世帯の方



方も心なしか顔が晴れやかになっていくようにうかがえました。

冬期間は外出も少なくなり、自宅で一人で過ごすことも多くなります。除雪ボランティアは、訪問し顔を合わせ話をすることで、高齢者の閉じこもり予防にもつながります。

村社会福祉協議会では今後も地域住民と連携しながら厳しい冬でも「だれもが安心して暮らせる大蔵村」を目指し、活動してまいります。



連絡会の構成員 ▶ 大蔵福祉会、大蔵村社協、鮭川厚生会、鮭川村社協、清流会、戸沢村社協

令和6年度より始動 最上三村社会福祉法人連絡会設立

2月5日、鮭川村社協で「最上三村社会福祉法人連絡会」の設立式が開催されました。最上地域の大蔵村・鮭川村・戸沢村の三村の社会福祉協議会と三村にある社会福祉法人で発足となりました。隣接した三村は、人口減少や高齢化率が類似し、介護現場や地域福祉の担い手減少など、共通する課題も多く、今後は連携しながら、地域課題の解決策を検討していきます。令和6年度より本格的に連絡会を開催していきます。

社協会費納入にご協力ありがとうございました

令和5年度社協会費総額
826,000円

ご協力いただきました会費は、さまざまな福祉サービスや相談活動、ボランティア活動の充実、福祉団体さらには行政・関係機関との協働事業など、地域福祉活動のために活用させていただきます。

令和6年度もご協力よろしくお願いいたします。

社協会費って？

社会福祉協議会は、地域住民の支え合いを通じて、お互いにしあわせを共有するために、大蔵村のすべての住民の皆さまを会員としております。

皆さまよりいただく会費は、地域福祉への「住民参加」という大きな意味をもっています。いただいた会費をもとに、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるむらづくりを推進してまいります。

令和5年度共同募金活動テーマ
つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～

募金実績 赤い羽根共同募金 581,056円
報告 歳末たすけあい運動募金 399,200円

歳末たすけあい募金運動の実績

募金合計	399,200円
配分内訳	
在宅重度障がい者	65,000円
要支援高齢者	156,000円
要支援世帯・要保護世帯	168,000円
最上管内福祉施設	10,000円
事務費	200円

赤い羽根共同募金運動の実績

募金合計	581,056円
募金の内訳	
戸別募金	560,300円
イベント募金	7,121円
役場庁舎内募金	13,635円

お寄せいただきました募金は、一度山形県共同募金会へ送金し、その後約50%が翌年福祉事業費として大蔵村社協へ還元されるしくみです。



▲ おおくら大産業市での募金活動の様子。健康福祉課と共同でむし歯予防のスタンプラリーも行いました。



共同募金運動は、地域の誰もが安心して暮らすことが出来るよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組むための資金として活用するために、全国的に運動が展開されています。大蔵村では10月から募金運動を開始し、多くの戸別募金での協力をいただきました。また、

10月29日のおおくら大産業市でのイベント募金では、来場した地域のみならずからも心あたたまるお気持ちをお寄せいただきました。共同募金へのご協力ありがとうございました。募金額と配分先をお知らせいたします。

赤い羽根共同募金運動
歳末たすけあい運動への
ご協力ありがとうございました



赤い羽根共同募金配分金事業報告 〈事業の一部をご紹介します〉

やまどりの会(ひとり暮らし高齢者のつどい)

11月8日、村内のひとり暮らし高齢者を対象に、大蔵村民生児童委員協議会の協力のもと、やまどりの会を肘折いでゆ館で開催し、39名が参加しました。

今回は、最上消費生活センターから講師を招き、悪徳商法から身を守る術を学びました。その後、カードゲームで、頭の体操を行いました。日頃、家庭では一人で過ごすことの多い皆さんも、笑い楽しみ身体も心もリフレッシュした一日を過ごしました。



児童福祉事業～世代間交流ワナゲ大会～

8月1日、放課後児童クラブと清水倶楽部健笑会(清水老人クラブ)で世代間交流のワナゲ大会を行いました。少子高齢化や核家族化が進み、高齢者と子どもが関わる機会が減っていることから、世代を超えたつながりや相互理解を深めることを目的に開催しました。

参加した子どもたちからは「ねらって投げるのが難しかった」、清水倶楽部健笑会の会員からは「子どもたちとふれあう機会がない中、とても楽しい時間を過ごすことができ、子どもたちから元気をもらった」と感想がありました。



「福祉サービス利用援助事業」 サービスご利用の流れ

高齢者の方、障がいのある方など

福祉サービスを利用したいけどわからない。

銀行にいて年金や生活費の引き出しをするのが困難。



いろいろな料金の支払いをつい忘れてしまう……。

通帳や印鑑をどこに置いたか忘れてばかり……。

相談の受付



最寄りの社会福祉協議会にご相談ください。ご本人・ご家族のほか、福祉関係者からの相談も多く寄せられます。

訪問・関係者との調整



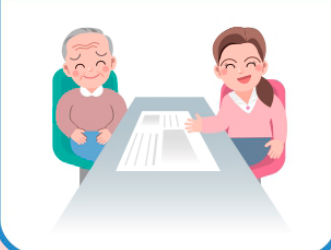
専門員がご自宅などを訪問し、面談のうえ困っていることをお伺いします。また、ご家族や金融機関、他の福祉サービス事業所、関係者との調整をします。
※プライバシーは必ず守ります。

支援計画の作成



どのようなお手伝いをするか、専門員がご本人と一緒に考えて具体的なサービスの計画をつくります。

定期的な支援計画の見直し



定期的に支援計画の内容を見直し、変更が必要な場合はご本人と相談して支援計画を変更します。

サービス開始



生活支援員が支援計画に沿ってご本人を訪問し、サービスを行います。必要に応じて臨時的援助も可能です。

契 約



支援計画の内容にもとづき、ご本人と社会福祉協議会との間で利用契約を結びます。

終了

契約の終了は次の場合です。

- ご本人からの申し出があったとき
- ご本人が亡くなったとき
- 判断能力の低下や生活状況の変化により契約継続が困難になったとき

利用料がかかります

サービス開始までの相談・計画作成等は無料です。サービス開始後の生活支援員による援助は利用料をいただいています。

利用料 1回1,500円

※生活保護世帯の方は公費補助により利用料が免除されます。

社会福祉協議会の職員(専門員)と生活支援員がお手伝いします

○専門員…心配ごとや困りごとについての相談とご本人の希望からご本人に合った適切な支援計画を作り、契約まで担当します。

○生活支援員…支援計画に沿って定期的にご本人を訪問し、具体的なサービスを行います。

福祉サービス利用援助事業のご案内

判断能力の不十分な高齢者や知的障がい、精神障がいのある方などが、安心して生活を送れるように、定期的に訪問し、福祉サービスの利用援助や暮らしに必要なお金の出し入れのお手伝いをします。

このような方が利用できます

高齢者や知的障がい、精神障がいのある方などで、福祉サービスの利用をしたいけれどよくわからない方、お金の管理や引き出しが出来ないなど日常生活に不安のある方が利用できます。

認知症等の診断や障がい者手帳の有無は問いません。

この事業はご本人と契約を結んで利用する制度ですので、契約内容が理解できないほど判断能力が低下されている場合は、この事業でお手伝いすることは難しくなります。



※判断能力については専門員が一定のガイドラインにそった面接調査によって判断します。

このようなお手伝いを行います

○福祉サービス利用のお手伝いができます

- (1) 福祉サービスに関する情報提供、利用または利用をやめるために必要な手続きをします。
- (2) 福祉サービスの利用料を支払う手続きや日常生活に必要な事務手続きをします。
- (3) 福祉サービスに関する苦情解決制度の利用手続きをします。

◆次のことはお手伝いできません。

施設などへの入所契約、治療・入院に関する契約、掃除、洗濯、買い物、介護、看護



○日常的な金銭の出し入れのお手伝い

- (1) 銀行などに行って年金や福祉手当、生活費の引き出しなどを支援します。
- (2) 公共料金や税金などの支払い、口座引き落としの手続きをします。
- (3) 日用品等の購入代金を支払う手続きをします。
- (4) その他、書類や請求書類の整理などをお手伝いします。

◆次のことはお手伝いできません。…………… 不動産屋や預貯金の資産運用



○大切な書類等の預かり

利用者が希望された場合、大切な書類や預金通帳、印鑑、年金証書などをお預かりし、貸金庫など安全な場所で保管します。(年金証書、保険証書、預金通帳、実印・銀行印、権利証、契約書類、その他社会福祉協議会が適当と認めた書類等)

◆次のものはお預かりできません。…………… 宝石、書画、骨とう品、貴金属、有価証券、現金など

▶大蔵村遺族会

大蔵村遺族会は先の大戦において散華された英霊の顕彰を基本理念とし、戦没者遺族の援護対策を図るとともに、恒久平和を願う戦没者遺族関係者の組織として創設されました。令和6年は戦後79年を迎えます。毎年8月には大蔵村戦没者追悼式に参列し、今もなお戦争で亡くなられた家族を思う気持ちを大切に、平和への誓いを立てています。



大蔵村戦没者追悼式が執り行われました

8月3日、厳かな雰囲気で大蔵村戦没者追悼式が大蔵村主催のもと執り行われました。式典では1分間の黙とうを捧げ、戦争の犠牲となった方々に哀悼の意を表しました。中島英也会長は「私たち戦没者遺族にとっては、痛ましい歴史において最愛の肉親を失い、今も忘れることの出来ない深い悲しみです。しかしながら、今私たちが受けている平和と繁栄は、今は亡き諸英霊のご加護の賜であります。改めて諸英霊のご遺徳を偲び、再び悲しい歴史を繰り返さない決意と平和の尊さを語り継ぎ、遺族会会員一同心ひとつにより一層努力してまいります」と決意を述べました。

靖国神社参拝事業

9月12日から2日間、遺族会会員を中心に22名が参加し、7年ぶりに東京の靖国神社で正式参拝を行いました。靖国神社は246万6千余柱の戦没者の方々を慰霊追悼顕彰する場所です。戦没者に追悼の誠を捧げ、世界の平和を祈念しました。また、靖国神社敷地内には遊就館と呼ばれる展示場があり、英霊のご遺書やご遺品をはじめ、貴重な史資料が展示されています。当時を生きていた人に思いを馳せ、戦争を繰り返してはならないと学び決意しました。



▶大蔵村身体障害者福祉協会

大蔵村身体障害者福祉協会は、身体障がい者の社会参加や交流の機会創出のために活動しています。11月24日、山形県身体障がい者保養所「東紅苑」で会員研修交流会を行いました。健康についての講話やスカットボールなどの軽スポーツを楽しみました。身体障害者福祉協会は身体障がいがある方、またはその家族が入会できます。



▶大蔵村手をつなぐ育成会

大蔵村手をつなぐ育成会は、知的障がいのある人たちを支える親や家族、支援者などで組織している会です。障がいのある人の自立と社会参加を支援し、住み慣れた地域で安心して豊かに暮らし続けるために活動しています。最上地区手をつなぐ育成会ではレクリエーションを通じた交流活動を行っています。知的障がいのある方の家族、もしくは本人が入会できます。



大蔵村の福祉団体の紹介〈活動の一部をご紹介します〉

▶大蔵村老人クラブ連合会 愛称:りんどうクラブ大蔵

老人クラブは概ね60歳以上の方で構成される地域の高齢者の自主組織です。会員の意見(ニーズ)に基づき、「生活を豊かにする楽しい活動」や「地域を豊かにする社会活動」など様々な活動が行われています。大蔵村内約380人の会員が12の単位老人クラブを組織しています。各クラブでは地区の環境保全活動(草刈り、花植え作業、清掃等)や、健康づくり活動、防犯教室など社会奉仕活動や生きがいを高めるための活動を行い、地域社会との交流を図っています。



輪で話と和を〜村公式ワナゲ交流大会〜

村公式ワナゲ交流大会は年に一度大盛り上がりする大会です。コロナ禍では各地区公民館を会場に行っていましたが、令和5年度から村中央公民館に集まり、開催できるようになりました。一投一投を集中して投輪する様子は、スポーツ選手そのもの。仲間が投げる間も真剣な眼差しで見守っています。りんどうクラブ大蔵では、ワナゲを通じた仲間づくりと健康づくりを行っています。令和6年度は7月24日(水)に開催予定です。皆さまのご参加をお待ちしております！

地域で“わたし”が出来ることはなんだろう？ ～単位老人クラブリーダー並びに ふれあいサロン運営者研修会～

12月19日、中央公民館で単位老人クラブ12の会長、副会長とふれあいサロンの運営者合わせて34名が合同研修会を実施しました。「いつまでも元気で健康に暮らせる地域づくりをすすめるために」をテーマに、6グループに分かれてワークショップを行いました。グループのメンバーが同じ地区で暮らしていると仮定し、暮らしの中での「助けてほしいこと」のカードを選びます。その後、選んだ「助けてほしいこと」から「助けられること(できること)」のカードを選びます。今回の研修は、まずはみんなが気軽に「たすけて」と言えるようになることをゴールに設定しました。日頃から「たすけて」と言える地域のつながりは、支援を受ける人も支援をする人も助かります。そして、誰もが支援を受ける側、支援をする側になります。お互いが困ったときに助けられる支え合いのできる地域づくりを目指しましょう。※ふれあいサロンや地区、団体のカードゲームを行いたい場合は社協事務局にお問合せください。



「助けてほしいこと」の中から「助けられること」を選びカードを移動します。





大蔵村ほのぼのスナップ



◀ 升玉サロンむつみ会の活動

升玉地区公民館にて、鶴さげが行われているところに生活支援コーディネーターがお伺いしてきました。

のこぎりで木を切るところから始まり、試行錯誤して吊り下げる木を完成させました。普段の足腰の痛さも気にならないほど、一生懸命に作業に取り組んでいました。

升玉サロンの皆さんは、これからも元気で暮らせるように祈りを込めて、1年間かけて千羽の鶴を折り紙で折ってきたそうです。

千羽鶴を吊り下げて素敵な笑顔の写真になりました。

赤十字防災セミナー 平林サロンの会にて開催▶

日本赤十字社山形県支部の方を講師に迎え、地域防災と耐熱性ポリ袋を使用した非常食づくりを学びました。災害時は地域での協力が必要不可欠です。赤十字防災セミナーは2か月前までの申込で開催できますので、ご希望の場合は事務局にご相談ください。



大蔵村ひとり暮らし高齢者等の見守り事業のご案内

村内のひとり暮らし高齢者の皆さまが、安心していつもお変わりなく過ごしていただけるよう、村社協が山形ヤクルト販売株式会社へ委託し、安否確認を第一に「訪問・声がけ」を行っています。



▶ 対象となる方

村内在住のおおむね75歳以上のひとり暮らしまたは高齢者のみ世帯で、ほとんど自宅で過ごしている方

▶ 期 間 令和6年4月～12月中旬、令和7年3月

▶ 配 達 日 週2回程度

(曜日は地区によって異なります)

▶ 配 達 物 ヤクルト400LT 1本(80ml)

▶ 申請方法 地区民生児童委員を通して申請

※費用負担はありません。

※安否確認が目的ですので、不在状況が長く続くなど、生活状態や環境等の変化により声掛けが不要になった場合は、配達を取り止めますのでご了承ください。

令和6年度 ボランティア活動保険のご案内

地区・自治会で行う美化活動や保全活動、道路清掃、ふれあいサロンの活動など、ボランティア活動中に「自分がケガをしたとき」「他人にケガをさせてしまったとき」「他人の物を壊してしまったとき」等の場合に備えて全国社会福祉協議会のボランティア保険があります。



▶ 補償期間 申込日～令和7年3月31日まで

▶ 保 険 料 基本プラン 一人 350円
天災・地震補償プラン 一人 500円

※補償内容等の詳しいご案内は、村社協にお問い合わせください。

お問い合わせ先

社会福祉法人 大蔵村社会福祉協議会

大蔵村大字清水2528番地(大蔵村役場内)

☎0233-75-2104(内線273)



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。